

2020年10月1日

## フードテック特化型ファンド 『食の未来ファンド』へ出資 ～食領域の取り組み拡大やスタートアップの成長を支援～

株式会社丸井グループ（本社：東京都中野区、代表取締役社長：青井 浩）は、このたび、フードテック特化型ファンド『食の未来ファンド』（運営会社：kemuri ventures、本社：東京都新宿区、代表：岡田博紀）へ、出資いたしました。共創投資における「食」領域の取り組み拡大やスタートアップ企業の成長を支援し、本業とのシナジーをさらに加速してまいります。



### ■ 出資の背景

丸井グループは、「小売」「フィンテック」に「共創投資」を加えた三位一体のビジネスモデルによってシナジーを追求することで、個々の事業の総和を超えた価値の創出をめざしています。

「食」は、日本の基幹産業かつ世界的な成長市場であり、多様な文化の象徴です。しかし、DX化の遅れや人材不足、将来の地球・次世代と共存する食の選択肢拡大など、解決すべき多くの課題も抱えており、今は「食」ビジネスの大きな「転換期」であると考えています。

米国の投資会社によれば、フードテックのスタートアップ投資額は年々増加しており、2019年の総投資額は150億ドル（約1兆6,000億円）※と、5年前の約5倍にまで成長しています。将来、フードテックの市場規模は、全世界で700兆円まで拡大すると言われています。

※ 米調査会社PitchBook（ピッチブック）による調査

## ■食文化・食ビジネスの未来を共創

当社グループは、当ファンドへの出資により、以下のような「食」ビジネスの社会的課題を解決したいと考えています。

- ① サステナブルな世界を次世代に（SDGs）
- ② 食ビジネスを日本の基幹産業に
- ③ 明るい未来を創ることにチャレンジする起業家を応援
- ④ スタートアップ企業との共創による企業変革
- ⑤ 食ビジネスの人材不足を解消

以上、共通のミッションをもとに、新しい「食」の可能性にチャレンジする起業家を支え、食文化・食ビジネスの未来を共に創ろうと考えています。

今後は、年間2億人が来店するマルイ店舗や700万人を超えるエポスカード会員といった、丸井グループのリソースを活用して、食文化・食ビジネスの発展に向けた取り組みを拡大します。また、当社グループにおいては、店舗イベントやテナント出店との連携、カード利用拡大によるLTV（生涯利益）の向上など、グループ全体の価値向上をめざしてまいります。

## ■ ファンドの概要

名 称 : 食の未来1号投資事業有限責任組合  
設 立 日 : 2020年10月1日  
運 用 期 間 : 2020年10月～2030年9月  
主 な 投 資 対 象 : フードテック領域のスタートアップ企業

## ■ ファンド運営会社の概要

会 社 名 : kemuri ventures 合同会社  
所 在 地 : 東京都新宿区若宮町10番地  
代 表 者 : 岡田 博紀  
設 立 日 : 2020年5月1日  
U R L : <https://www.kemuriventures.co.jp>  
事 業 内 容 : ベンチャーキャピタル事業、大手事業会社CVC支援事業

## ■ 丸井グループの概要

商 号 : 株式会社丸井グループ  
本 社 所 在 地 : 〒164-8701 東京都中野区中野4-3-2  
U R L : <https://www.0101maruigroup.co.jp/>  
社 長 : 青井 浩